

第2考査 世界史A 問題

I、文中の[]に適切な語句をいれるべき適語を語群より選び記号で記せ。また下線部について設問に答えよ。

中世のヨーロッパにおいて、国家は現在のようなまとまりをもたず、[1]や騎士といった封建領主が事実上の独立国ともいえる[2]を支配する世界であった。こうした西ヨーロッパ社会を統一する秩序の中心となっていたのはローマ教皇を中心とした[3]と、世俗社会の頂点に立つ[4]であった。しかしこうした伝統的な国際秩序が解体していくなか、主権国家体制が形成されてきた。とくに17世紀前半、ドイツで発生した①三十年戦争と②この戦争を終わらせた[5]条約がその画期とされる。

こうした主権国家のなかでもとくに強力な国家となったのが、17世紀のフランスである。17世紀中期以後70年間をこえる期間王をつづけた[6]は、権力を一身に集め、③王権神授説をとりて人々に服従を求めるとともに、④重商主義政策をとった。これを背景に、領土拡大をめざし侵略戦争をすすめ、[7]宮殿を中心とする華やかな宮廷文化がさかえた。

17世紀後半から18世紀にかけて、⑤啓蒙専制君主とよばれる君主が現れた。とくにドイツ東部の[8]の国王[9]が有名である。かれは18世紀中期二度にわたって[10]のマリア＝テレジアを破って、この国を五大強国の一つにのしあげた。

(ア)ルイ14世 (イ)フリードリヒ2世 (ウ)エリザベス1世 (エ)エカチェリーナ2世 (オ)荘園 (カ)皇帝 (キ)諸侯 (ク)州
(ケ)カトリック教会 (コ)ギリシア正教会 (サ)ルーブル (シ)ヴェルサイユ (ス)ウェストファリア
(セ)イタリア (ソ)スペイン (タ)プロイセン (チ)オーストリア (ツ)ロシア

<設問>

①三十年戦争はどのようなきっかけで発生したのか、正しいものを一つ選び記号で記せ。

- (ア)次の国王を選ぶための争い (イ)領土獲得をめぐる対立 (ウ)王同士の個人的な反発
(エ)ローマ教会と皇帝の主導権争い (オ)宗教をめぐる対立。

②三十年戦争とその講和条約にかかわって説明した以下の文で誤りを含むものを選び記号で記せ。

(ア)戦争にはスウェーデンやフランスが介入、国際戦争の様相を見せた。

(イ)軍隊の中心であったのは、金で雇われた兵士たちであり、戦闘だけでなく略奪や暴行などをくりかえしたため、ドイツは荒廃した。

(ウ)戦争に参加した諸外国がドイツ内で領土を獲得した。

(エ)条約によって、皇帝がドイツ唯一の主権者とみとめられ、ドイツのまとまりは強化された。

③王権神授説について説明せよ。

④重商主義政策を正しく説明した文を1つ選び、記号で答えよ。

(ア)独占的な大商人と結び、貿易の振興や商工業の保護育成をはかった。

(イ)国内の資金流出を防ぐために、鎖国を実施した。

(ウ)貿易の拡大を図るため、輸出・入とも大いに振興した。

(エ)国王が中心となって国内の富国強兵をすすめた。

(オ)関税を撤廃して輸入を減らそうとした。

⑤啓蒙専制君主について説明した以下の文で誤りを含むものを1つ選び記号で記せ。

(ア)おもに遅れて絶対主義化がすすんだ地域で出現した。

(イ)先進国と肩を並べるため、農奴解放を行うなど民主主義の発展につとめた。

(ウ)君主が先頭に立って工場建設や、教育制度・官僚制の整備が進めた。

(エ)こうした政策の中心になる考えは富国強兵という考えである。

(オ)軍国主義をおしすすめ、侵略戦争にかかわった君主も多い。

II、文中の[]に適切な語句をいれるべき適語を語群より選び記号で記せ。また下線部に

ついで設問に答えよ。

1479年成立したスペイン王国は1492年の[1]航海以来、アメリカ大陸に進出、発展の基礎をつくった。16世紀①ハプスブルク家の[2]が国王となり、西ヨーロッパの統合をめざした。スペインは②その子[3]のもとで全盛を迎えたがオランダで独立戦争が発生、さらに1588年[4]が敗れたこともあって衰退した。

これにかわって海外貿易の中心となったのはオランダである。15世紀以降、ハプスブルク家の支配下におかれていた[5]では、スペインによる[6]強制などに反発して独立運動が発生、1581年には北部7州が独立を宣言、1609年事実上の独立を達成したものである。オランダはスペインなどと争いながら③アジアに進出、[7]貿易を奪い、1602年世界最初の株式会社といわれる[8]会社のもとに、17世紀前半には世界貿易の中心となった。

<設問>

①ハプスブルク家は歴代ヨーロッパにおける重要な地位を世襲していた。どのような地位か、記せ。

②(1)この国王の出来事ではないものを記号で記せ。

- (ア)日本からのキリスト教徒の少年使節団が来日、この国王と面会した。
- (イ)オスマン帝国の海軍を破って地中海の海上権を手に入れた。
- (ウ)宗教改革を進めたルターを宗教裁判所にまねき、自説は誤りであると認めさせようとした。
- (エ)隣国のポルトガルを併合し、太陽の沈まない国を実現した。

③17世紀中期、オランダが貿易を独占したアジアの国の名をいえ。

Ⅲ、[]に入れるべき適語を記せ。また下線部について設問に答えよ。

北アメリカの大西洋岸では17世紀以来、①イギリス系住民が移住、[1]州にわたる植民地が生まれてきた。18世紀中期には植民地軍がイギリスと協力し[2]を破ると、植民地と本国の対立が表面化した。とくに本国が戦争の費用を植民地に負担させようと[3]法などをだすと、植民地側は②「代表なくして課税なし」と主張して反対運動をすすめ、これを撤回させた。

しかしイギリスが経済の自由を奪う政策を出す反発した人々は[4]事件をおこしたため、対立はさらに激化、ついに独立戦争が発生、植民地側は[5]年③独立宣言を発表した。さらに植民地は独立宣言の精神を説いてヨーロッパ人々の支持を得る一方、イギリスに反感をもつ[6]・スペインなどの参戦を実現させた。こうしたなかで[7]を司令官とする植民地軍は戦局を逆転させ、1783年独立を実現した。

1787年採択された合衆国憲法で、アメリカは広範囲の自治権を持つ[8]の上に中央政府がたつという連邦主義をとり、中央政府では、④三権分立の原則にもとづき巨大な権力を持つ[9]が政府をひきい、立法権は⑤連邦議会が、司法権は最高裁判所がわけもった。こうして新たに成立したアメリカ合衆国は自由と平等にもとづく民主主義の原理を、⑥基本的人権の尊重を唱えた。

<設問>

①他の国の植民地と違う、イギリス系の植民地の性格を簡潔に記せ。

②「代表なくして課税なし」というスローガンの意味をわかりやすく説明せよ。

③アメリカ独立宣言について以下の問いに答えよ。

われわれは、自明の真理として、全ての人は平等に造られ、造物主によって、一定の奪いがたい権利を附与され、そのなかになく a、、および<c>の追求の含まれることを信ずる。また、(2)これらの権利を確保するために人類の間に政府が組織されたこと、そしてその正当な権力は被治者の同意に由来するものであることを信ずる。そしていかなる政治の形態であろうといえども、もしこれらの目的を毀損するものとなった場合には、人民はそれらを改廃し、かれらの安全と幸福をもたらすべしと認められる主義を基礎とした権限の機構をもつ、新たな政府を組織する権利を有することを信ずる。

(1)文中の<a><c>の正しい組み合わせを選び、記号で答えよ。

- (ア)正義、真理、平和 (イ)自由、平等、友愛 (ウ)愛、平和、夢 (エ)生命、自由、幸福 (オ)安全、有利、財産

(2) 下線部 (2) にみられるように政府は個々の人間の契約によりつくられたという考えを何というか。

④ 三権分立を理論づけた『法の精神』を著わしたフランスの啓蒙思想家を選べ。

(ア)モンテスキュー (イ)ロック (ウ)マルクス (エ)ホブズ (オ)ディドロ (カ)アダム＝スミス

⑤ 連邦議会について説明した以下の<A>にはいる言葉の組み合わせを選び記号で記せ。

連邦議会は<A>の代表からなる上院、で選出される下院からなる二院制をとっている。

(ア)農村、都市 (イ)州、都市 (ウ)州、人口比例 (エ)小選挙区、大選挙区 (オ)貴族、普通選挙

⑥ 基本的人権の立場から、当時のアメリカには大きな人権問題が存在していた。その内容を一つあげよ。

IV、文中の[]に適切な語句をいれるべき適語を記せ。また下線部について設問に答えよ。

ロシアの出発点は北欧から侵入したルーシとよばれた人たちがこの地に国を建てたことにさかのぼる。彼らはこの地にすむ[1]民族と融合・同化するとともに、①ローマ帝国の伝統を引く[2]帝国との関係を深めていった。

15世紀、[3]大公国の首長がモンゴル人から独立を達成、さらに1453年に滅びた[2]帝国の後継者であるとして皇帝([4])の称号を用いた。

正式に皇帝の称号を用い始めたのが16世紀中期の[5]である。かれは貴族を圧迫し専制君主化を進めるとともに、東方の[6]への進出を開始、ロシア膨張のきっかけを作った。こうして成長してきたロシアをヨーロッパの強国におしあげたのは17～18世紀前期の②ピョートル1世である。さらに18世紀後半の女帝[7]は、ラクスマンを[8]へ派遣、③トルコから黒海北部を奪い、さらに三回にわたる[9]分割で領土を西に広げるなどヨーロッパでの地位をいっそう確固たるものにした。

(ア)ツァーリ (イ)モンゴル (ウ)ビザンツ (エ)モスクワ (オ)スラブ (カ)ポーランド (キ)エリザベス1世 (ク)エカチェリーナ2世 (ケ)イヴァン3世 (コ)イヴァン4世 (サ)ピョートル1世 (シ)フリードリヒ2世
(ス)シベリア (セ)日本 (ソ)アメリカ

<設問>

①これ以降、ロシアで広がったキリスト教の一派の名をいえ。

②ピョートル1世について説明した以下の文で誤りを含むものをいえ

(ア)西欧への視察旅行からくる体験をもとに、ロシアの軍事・産業などの西欧化を図った。

(イ)スウェーデンとの20年以上にわたる北方戦争に勝利し、バルト海への進出を実現した。

(ウ)バルト海沿岸にペテルブルクを建設、首都とした。

(エ)啓蒙専制君主として農奴制の解放や政治の民主化を進めた。

(オ)東方へも領土を広げ、清との間で国境確定のための条約を締結した。

③このように北方の国ロシアが暖か位置に領土を求めていこうとする伝統的な政策を何というか。

V.[]内に入れるべき適語を記せ。また下線部についての設問に答えよ。

16世紀後期、イギリスでは女王①エリザベス1世のもと繁栄の基礎を確立した。その死後即位した国王たちが[1]を軽視する態度をとったため、王と議会は対立、ついに[2]革命が発生した。このなかで議会派の指導者[3]は鉄騎隊を結成、国王をとらえ、ついには処刑し、②政権の座についた。

彼の死後の混乱の中、[4]政が復活した。しかし王たちは③再び専制的な態度を強めたため、④1688年議会は[5]から新しい王をむかえ、それまでの王を追放した。これを[6]という。

翌年、王と議会はこうした過程の中で国民と議会が獲得した諸権利を法文化した[7]を發布した。

<設問>

①エリザベス1世とは関係のないものを1つ選び、記号で記せ。

- (ア)ヘンリ8世以来つづいた宗教改革に関わる混乱を終結させた。
- (イ)冒険商人ドレークらを援助して海外貿易を促進する一方、北アメリカの植民を開始した。
- (ウ)プロテスタント国オランダの独立を援助した。
- (エ)ドイツの七年戦争に介入し、ドイツ国内に領土を獲得した。
- (オ)東インド会社を設立し、インドへの進出を本格化した

②この人物([3])の政治について正しく説明したものを1つ選び、記号で記せ。

- (ア)国王の一族が逃れたアイルランドを攻撃した。
- (イ)すべての人間にピューリタンになるように求めた。
- (ウ)産業育成をはかるため、激しく世界の商業の覇権を争っていたフランスと戦った。
- (エ)国王になろうと考えたが、議会の反対をうけあきらめた。
- (オ)しだいに独裁者の性格を強くし、国民に厳しい宗教的道德の実施を求めた。

③こうした過程のなかで、議会内には同じ政治的考えを持つグループが組織化され統一行動をとるようになっていく。現在の政治において大きな役割を担うこういった組織を何というか。

④下線部③のようなできごとの結果、どのようなことが実現したのか。下から1つ選び記号で記せ。

- (ア)イギリスではこれ以後国王はいなくなった。
- (イ)すべてのイギリス国民に選挙権が保障された。。
- (ウ)イギリスは国王と議会の協力によって政治を行うとし、両者は対等の権利を持つとされた。
- (エ)国民の基本的人権が確立し、議会中心主義が定着していった。
- (オ)男女平等が実現し、女性も議員を選挙できるようになった。